

2008. 2. 27

■意見

田淵 弘

1. 淀川本流は上流にダムが整備されて防災的には現状で十分だと思う、然し天瀬ダムは建設されてから相当な年月が経過してる、老朽化が進んでいるのであれば改修が必要と考えられる。
2. 本流護岸際に生えている、多くの雑木が大きくなり、増水時には流れの障害物（抵抗物）になる為、速やかに伐採が必要と思う、流れに逆らわない葦等は水を浄化する効果が有り有益で有るが大きな樹木は折れたり倒れ（抜かれ）たりして流されて橋桁等にぶつかりする障害物で有り又抜かれた場合は土砂も流され有害で有る。
3. 淀川本流を活用し公共交通手段としての定期船と民間のタクシー船の運行を検討してはどうか？

現在東西の公共交通は京阪電鉄と阪急電鉄でその間が相当な距離が空いている、その間を淀川を利用して定期船を兩岸に運行しては如何か？、混雑して時間が不安定な路線バスよりは、信号も無くすいている川の活用の方が効率的だと考えられる。

（例えば、宇治から天満橋か淀屋橋間で）

タクシー船は郊外は利用者が少ないと思われるので、市内の川で民間企業に許可してはどうか？

尚各運行会社から適切な河川利用料を頂きその金は護岸の警備、整備の一部に充当する等・・・？